



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社東邦システムサイエンス 上場取引所 東
 コード番号 4333 URL http://www.tss.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 宣夫
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 吉田 博英 (TEL) 03 (3868) 6060
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,591	11.8	751	42.4	755	41.7	499	49.5
27年3月期第2四半期	5,893	27.5	527	80.4	533	80.2	334	101.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	41.16		—					
27年3月期第2四半期	27.54		—					

(注)平成26年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	8,309	5,135	61.8	423.27
27年3月期	8,340	4,806	57.6	396.17

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,135百万円 27年3月期 4,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.4	1,200	3.8	1,206	3.7	760	14.6	62.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	13,865,992株	27年3月期	13,865,992株
28年3月期2Q	1,733,726株	27年3月期	1,733,726株
28年3月期2Q	12,132,266株	27年3月期2Q	12,132,620株

(注)平成26年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数(四半期累計)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、平成27年11月17日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調が続きました。一方、中国をはじめとするアジア新興国経済の景気下振れリスクが依然として存在すること等により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界におきましては、企業収益の改善を背景に、金融業などを中心とした企業のソフトウェア投資は堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社は当事業年度を初年度とする中期事業計画（2015年～2017年度）をスタートさせ、①「継続的かつ安定的な事業拡大」、②「E S（社員満足度）の向上」、③「モノ作り力の向上」を重点戦略とした取り組みを推進しております。また、営業活動面におきましては既存顧客との取引拡大、新規顧客の獲得に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は6,591百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は751百万円（同42.4%増）、経常利益は755百万円（同41.7%増）、四半期純利益は499百万円（同49.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ソフトウェア開発

当社の中心的なビジネス領域である金融系分野の売上高は5,357百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

税制改正対応の案件や投信関連業務の受注が伸びた銀行系業務は1,249百万円（同27.2%増）、ネット証券会社の基幹システムやデリバティブ案件の受注が伸びた証券系業務は943百万円（同47.6%増）、基幹システムの保守が拡大した生命保険系業務は1,289百万円（同21.9%増）と好調に推移しました。また、統合案件や基幹システムの保守案件を継続受注した損害保険系業務は1,761百万円（同2.4%増）と堅調に推移しました。

非金融系分野の売上高は1,066百万円（同10.2%減）となりました。開発の終了に伴い、医療・福祉系業務は470百万円（同12.8%減）、運輸・郵便系業務は202百万円（同25.3%減）と前年同期を下回りましたが、通信系業務は大型案件獲得により、213百万円（同25.9%増）と伸展いたしました。

これらの結果、ソフトウェア開発の売上高は6,424百万円（同12.4%増）となりました。

②情報システムサービス等

主たる業務であるコンピュータ運用管理業務は運用の統合化が進み、情報システムサービス等の売上高は167百万円（前年同期比4.7%減）と前年同期を若干下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期会計期間末における総資産は8,309百万円となり前事業年度末に比べ31百万円減少しております。これは主として、現金及び預金が297百万円、仕掛品が84百万円、投資有価証券が16百万円、繰延税金資産（固定資産）が13百万円増加し、売掛金が390百万円、繰延税金資産（流動資産）が47百万円減少したことによりです。

負債合計は3,174百万円となり前事業年度末に比べ359百万円減少しております。これは主として、退職給付引当金が54百万円増加し、買掛金が44百万円、未払金が127百万円、未払法人税等が64百万円、賞与引当金が11百万円、その他流動負債が157百万円減少したことによりです。

純資産は5,135百万円となり、前事業年度末に比べ328百万円増加しております。これは主として、四半期純利益499百万円を計上したこと、剰余金の配当により181百万円減少したことによりです。これらの結果、自己資本比率は61.8%となり、前事業年度末に比べ4.2ポイント増加しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ298百万円増加し、5,529百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は483百万円(同18.1%減)となりました。これは主な増加要因として、税引前四半期純利益が755百万円、売上債権の減少額が390百万円、主な減少要因として、たな卸資産の増加額が84百万円、未払消費税等の減少額が157百万円、その他の減少額が123百万円、法人税等の支払額が298百万円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2百万円(同51.3%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は182百万円(同20.0%増)となりました。これは主に配当金の支払額181百万円があったことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、引き続き需要は堅調に推移すると思われませんが、国内外の経済情勢、IT技術者不足等、先行き不透明な要因もあり、平成27年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に現時点での変更はありません。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,935,521	5,233,457
売掛金	1,840,209	1,449,242
有価証券	405,782	405,855
仕掛品	8,587	93,555
繰延税金資産	203,326	155,393
その他	63,751	61,037
貸倒引当金	△5,521	△4,328
流動資産合計	7,451,659	7,394,215
固定資産		
有形固定資産	26,180	27,822
無形固定資産	37,553	29,696
投資その他の資産		
投資有価証券	154,303	171,215
繰延税金資産	518,070	531,550
その他	157,581	159,774
貸倒引当金	△4,750	△4,750
投資その他の資産合計	825,205	857,790
固定資産合計	888,939	915,309
資産合計	8,340,598	8,309,524

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	670,019	625,353
リース債務	3,168	3,185
未払金	149,622	22,008
未払費用	109,659	105,916
未払法人税等	309,043	244,108
賞与引当金	360,970	349,724
役員賞与引当金	8,950	—
その他	263,545	106,386
流動負債合計	1,874,979	1,456,682
固定負債		
リース債務	6,440	4,843
退職給付引当金	1,507,721	1,562,410
役員退職慰労引当金	145,066	150,391
固定負債合計	1,659,227	1,717,645
負債合計	3,534,207	3,174,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	531,902	531,902
利益剰余金	4,242,186	4,559,542
自己株式	△545,581	△545,581
株主資本合計	4,755,090	5,072,446
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,299	62,749
評価・換算差額等合計	51,299	62,749
純資産合計	4,806,390	5,135,196
負債純資産合計	8,340,598	8,309,524

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,893,578	6,591,684
売上原価	4,841,532	5,298,193
売上総利益	1,052,046	1,293,490
販売費及び一般管理費	524,342	542,197
営業利益	527,703	751,292
営業外収益		
受取利息	161	125
受取配当金	1,125	1,495
保険返戻金	832	—
保険事務手数料	524	488
貸倒引当金戻入額	2,015	1,193
その他	756	946
営業外収益合計	5,414	4,248
営業外費用		
支払利息	65	48
営業外費用合計	65	48
経常利益	533,052	755,492
税引前四半期純利益	533,052	755,492
法人税、住民税及び事業税	196,614	227,161
法人税等調整額	2,347	28,990
法人税等合計	198,961	256,152
四半期純利益	334,090	499,339

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	533,052	755,492
減価償却費	11,887	10,899
退職給付引当金の増減額(△は減少)	67,812	54,689
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,476	5,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,015	△1,193
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,815	△11,245
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△8,950
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,317	—
受取利息及び受取配当金	△1,286	△1,620
支払利息	65	48
売上債権の増減額(△は増加)	345,297	390,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,437	△84,968
仕入債務の増減額(△は減少)	18,079	△44,666
未払費用の増減額(△は減少)	△10,254	△3,693
未払消費税等の増減額(△は減少)	75,179	△157,443
その他	△84,059	△123,231
小計	860,664	780,408
利息及び配当金の受取額	1,286	1,620
利息の支払額	△65	△48
法人税等の支払額	△271,879	△298,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	590,005	483,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,404	△2,491
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△150
その他	883	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,521	△2,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,562	△1,579
自己株式の取得による支出	△147	—
配当金の支払額	△150,645	△181,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,356	△182,762
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	432,127	298,008
現金及び現金同等物の期首残高	4,514,759	5,231,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,946,886	5,529,165

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	6,525,740	112.1
情報システムサービス等	167,480	94.6
合計	6,693,220	111.6

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	6,239,440	110.1	2,185,195	95.5
情報システムサービス等	△340	△2.2	83,670	90.5
合計	6,239,100	109.8	2,268,865	95.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	6,424,204	112.4
情報システムサービス等	167,480	95.3
合計	6,591,684	111.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当第2四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
榑野村総合研究所	2,192,807	37.2	2,363,897	35.9

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。